

平成28年10月5日

### 政務活動費使用計画届出書

届出者 成田吉毅(代表者) / 新美保博 / 竹内功治 / 山田清一 / 中川健一 / 鈴木幸彦 / 沢田清 / 渡辺昭司 / 石川英之 / 嶋崎昌弘

○使途項目 (○をつける) **調査研究** 研修・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

半田市の“自助・共助”の取り組みについて

○目的

(半田市にどのように活用できるか、半田市の可能性をどのように切り拓けるか)

○千葉県

東日本大震災においては、発災後の二次避難対応で命の明暗を分けた学校が多くあったことはまだ記憶に新しいところであります。

近い将来必ずやってくるという南海トラフ巨大地震に対する備えに対して、市内の各学校現場ではそれぞれ対応マニュアルをもって取り組んでいますが、それは地震防災に特化されたものではなく、不審者対応や台風発生時・火災発生時の対応マニュアルと並列に列記された簡易なものです。

学校現場で大地震が発災した場合、自宅には必ずしも保護者が待機していることは考えにくいことや、現場の対応には学校の教職員に任せるしかありません。そして発災する状況には、授業中、あるいは登下校中、校外活動中など様々なシーンがあり、また発災後には、津波の発生や液状化、交通網の遮断などの二次災害対応にも十分な配慮が必要であります。さらに特別な支援が必要とする児童生徒への対応についても体制を整えておく必要があります。

そこで、学校現場での災害発生時の子供たちの安全の確保と、防災教育の一環として防災・減災に向けて自助・共助についてどのように取り組みを高めていくのか、その方策と推進の仕方について、千葉県教育委員会の“学校における地震防災マニュアル”を調査研究することを目的とします。

○神奈川県横浜市

近い将来必ずやってくるという南海トラフ巨大地震に対する備えは、行政の行う公助だけでは限界があります。また、避難所に行けば何とかなる。近所の人や自主防災会等の各種団体が何とかしてくれるだろうといった受け身的な“共助”では発災時には何ともなりません。4月の熊本地震のように、「まさか今日大地震が発生するとは思わなかった」という感覚で日々生活を送っているのが、実際の半田市民の現状だと思われます。

そこで、防災・減災に向け、自助・共助の重要性をどのように共通認識として市民に自覚

確認欄	議長	管理委員長



させていくのか。特に自助の意識をどのように高めていくのか、その方策と推進の仕方について学ぶことを目的とします。

また、このテーマは議長より諮問のあった政プロの調査研究と関連しており、本調査で得た知識を政プロでの議論に生かしていきます。

## ○概要

(どこに何を調査しに行くのか。視察の場合は特にその特徴は何か、事前調査すること)  
(資料購入の場合には、選定理由を記載すること)

日にち 10月20日(木)

### 行先・内容

千葉県：

千葉県教育委員会には「学校における“地震防災マニュアル”」が存在します。

千葉県の防災教育の目標として、自助・共助の防災意識を高める防災教育の推進、防災教育を発達段階に応じて計画的・継続的に推進し、災害に対する予知・予測能力や危険予測・危険回避能力を身につけさせるとあります。これは“津波防災地域づくりに係る全国先進事例集”の“①リスク情報・防災教育”に記載があったものの一つです。地震、津波発生時の教職員・児童の対応手順を定めて作成されたマニュアルです。

当教育委員会では、東日本大震災の教訓を踏まえ、各市町村の教育委員会からの意見を取りまとめ、教職員・児童の対応手順に係る、学校防災マニュアルを作成・周知し、防災教育の普及を図っているようです。防災教育の取り組み重点6項目を掲げ、地震発生時における児童生徒の安全を確保するために教職員が果たすべき役割・整えておくべき体制を検討するために作成し、各自治体はこのマニュアルを参考に防災計画を再度点検しているようです。

マニュアルには、平時の事前対策と地震発生時の在校中の対応・学校外の対応・特別支援児童への対応などの設定や、対応手順のフロー化、職員の対応として、初期対応から二次対応判断(特に津波警報など)を経て二次対応へと対応手順が整理されています。

これは県教育委員会が作成した広域行政のものですが、半田市の子供たちの安全の確保のため、このマニュアルを半田市にも取り入れることができないか調査研究するものです。

日にち 10月21日(金)

### 行先・内容

横浜市：横浜市には平成25年3月11日に制定した「よこはま地震防災市民憲章」が存在します。これは、市民に減災に向けた自助・共助の大切さを共通認識として持ってもらうため、またそれが次世代へ引き継がれていくことを願い、これを策定したものです。

どのような人物が主導し策定に至ったか、策定に至るまでの背景や内容、憲章に対する思いや推進の方法、策定前と策定後3年を経過した市民意識の変化などを学び、これを半田市にも取り入れることができないか調査研究する。

○行程・予算（資料購入の場合は、内容欄に書名と出版社を記入）

日にち	時間(概略可)	内容		金額(円)
10月20日	発 7:56 着 8:35	知多半田 名鉄名古屋	名鉄	660円
	発 8:54 着 10:26	名古屋 品川	のぞみ 214号 指定 4,830円	11,630円
	発 10:37 着 11:24	品川 千葉	J Rエアポート成田 運賃 6,800円	
	発 11:42 着 11:47	千葉 県庁前	千葉モノレール	200円
		昼食		
	13:30 から 2時間程度	千葉県視察	手土産	200円 (2,000円/10人)
	発 16:05 着 16:10	県庁前 千葉	千葉モノレール	200円
		宿泊 (ホテルサンルート千葉)		7,500円
	10月21日	発 10:26 着 11:40	千葉 横浜	J R総武線
発 11:50 着 11:55		横浜 関内	J R京浜東北・根岸線	
		昼食		
13:30 から 1時間程度		横浜市視察	手土産	200円 (2,000円/10人)
発 15:02 着 15:16		関内 新横浜	横浜市営地下鉄	270円
発 15:29 着 16:49		新横浜 名古屋	のぞみ 43号 運賃 5,620円 指定 4,830円	10,450円
発 17:03 着 17:11		名鉄名古屋 知多半田	名鉄	660円
		合計	33,220円	

別記様式第1号（第2条関係）  
政務活動費使用計画書

平成28年10月5日

半田市議会議長

澤田 勝 殿

議員名 成田吉毅



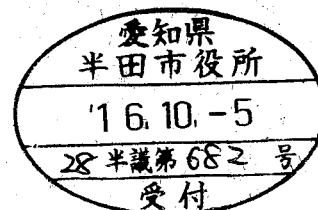
政務活動費使用計画書

1 計画の内容（単位 円）

使途項目	予算額	左のうち政務活動費充当額	事業計画
調査研究	33,220	33,220	半田市の“自助・共助”の取り組みについてを調査研究のため、千葉県と横浜市を視察
支出合計		① 33,220	

2 上記計画前までに請求した政務活動費の合計金額（②） 0 円

3 ①+② 33,220 円

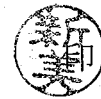


別記様式第1号（第2条関係）  
政務活動費使用計画書

平成28年10月5日

半田市議会議長  
澤田 勝 殿

議員名 新美保博



政務活動費使用計画書

1 計画の内容（単位 円）

使途項目	予算額	左のうち政務活動費充当額	事業計画
調査研究	33,220	33,220	半田市の“自助・共助”の取り組みについてを調査研究のため、千葉県と横浜市を視察
支出合計		① 33,220	

2 上記計画前までに請求した政務活動費の合計金額（②） 0 円

3 ①+② 33,220 円



別記様式第1号（第2条関係）  
政務活動費使用計画書

平成28年10月5日

半田市議会議長

澤田 勝 殿

議員名 竹内功治



政務活動費使用計画書

1 計画の内容（単位 円）

使途項目	予算額	左のうち政務活動費充当額	事業計画
調査研究	33,220	33,220	半田市の“自助・共助”の取り組みについてを調査研究のため、千葉県と横浜市を視察
支出合計		① 33,220	

2 上記計画前までに請求した政務活動費の合計金額（②） 0 円

3 ①+② 33,220 円



別記様式第1号(第2条関係)  
政務活動費使用計画書

平成28年10月5日

半田市議会議長

澤田 勝 殿

議員名 山田清一



政務活動費使用計画書

1 計画の内容 (単位 円)

使途項目	予算額	左のうち政務活動費充当額	事業計画
調査研究	33,220	33,220	半田市の“自助・共助”の取り組みについてを調査研究のため、千葉県と横浜市を視察
支出合計		① 33,220	

2 上記計画前までに請求した政務活動費の合計金額(②) 0 円

3 ①+② 33,220 円



別記様式第1号(第2条関係)  
政務活動費使用計画書

平成28年10月5日

半田市議会議長

澤田 勝 殿

議員名 中川健一



政務活動費使用計画書

1 計画の内容 (単位 円)

使途項目	予算額	左のうち政務活動費充当額	事業計画
調査研究	33,220	33,220	半田市の“自助・共助”の取り組みについてを調査研究のため、千葉県と横浜市を視察
支出合計		① 33,220	

2 上記計画前までに請求した政務活動費の合計金額(②) 0 円

3 ①+② 33,220 円





別記様式第1号（第2条関係）  
政務活動費使用計画書

平成28年10月5日

半田市議会議長

澤田 勝 殿

議員名 鈴木幸彦



政務活動費使用計画書

1 計画の内容（単位 円）

使途項目	予算額	左のうち政務活動費充当額	事業計画
調査研究	33,220	33,220	半田市の“自助・共助”の取り組みについてを調査研究のため、千葉県と横浜市を視察
支出合計		① 33,220	

2 上記計画前までに請求した政務活動費の合計金額（②） 0 円

3 ①+② 33,220 円



別記様式第1号(第2条関係)  
政務活動費使用計画書

平成28年10月5日

半田市議会議長

澤田 勝 殿

議員名 沢田 清



政務活動費使用計画書

1 計画の内容 (単位 円)

使途項目	予算額	左のうち政務活動費充当額	事業計画
調査研究	33,220	33,220	半田市の“自助・共助”の取り組みについてを調査研究のため、千葉県と横浜市を視察
支出合計		① 33,220	

2 上記計面前までに請求した政務活動費の合計金額(②) 0 円

3 ①+② 33,220 円



別記様式第1号（第2条関係）  
政務活動費使用計画書

平成28年10月5日

半田市議会議長

澤田 勝 殿

議員名 渡辺昭司



政務活動費使用計画書

1 計画の内容（単位 円）

使途項目	予算額	左のうち政務活動費充当額	事業計画
調査研究	33,220	33,220	半田市の“自助・共助”の取り組みについてを調査研究のため、千葉県と横浜市を視察
支出合計		① 33,220	

2 上記計画前までに請求した政務活動費の合計金額（②） 3,570 円

3 ①+② 36,790 円



別記様式第1号(第2条関係)  
政務活動費使用計画書

平成28年10月5日

半田市議会議長

澤田 勝 殿

議員名 石川英之



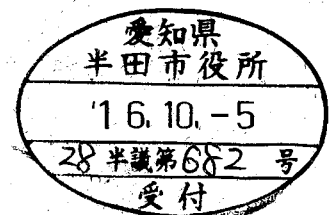
政務活動費使用計画書

1 計画の内容 (単位 円)

使途項目	予算額	左のうち政務活動費充当額	事業計画
調査研究	33,220	33,220	半田市の“自助・共助”の取り組みについてを調査研究のため、千葉県と横浜市を視察
支出合計		① 33,220	

2 上記計画前までに請求した政務活動費の合計金額(②) 0 円

3 ①+② 33,220 円



別記様式第1号(第2条関係)  
政務活動費使用計画書

平成28年10月5日

半田市議会議長

澤田 勝 殿

議員名 嶋崎昌弘



政務活動費使用計画書

1 計画の内容 (単位 円)

使途項目	予算額	左のうち政務活動費充当額	事業計画
調査研究	33,220	33,220	半田市の“自助・共助”の取り組みについてを調査研究のため、千葉県と横浜市を視察
支出合計		① 33,220	

2 上記計画前までに請求した政務活動費の合計金額(②) 0 円

3 ①+② 33,220 円

